



次期システムへの移行方針

2019年10月10日

輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

1. 次期システムへの移行方針

第7次NACCSへのシステム移行については、現行（第6次）NACCSのデータを一括で移行することを目指すこととしたい。

また、移行に要する時間は、前回の第6次NACCS更改時の移行時間を目安とする。

区 分	概 要	備 考
1. 個別検討事項	次期システムへの移行方針について検討する	
2. 現行仕様	①現行（第6次）NACCS更改においては一括移行を採用 ②2017年10月の第6次NACCS更改は5時間45分で移行を実施	
3. 見直しの経緯 (利用者の要望等)	現行（第6次）NACCSは航空機能及び海上機能が統合されたシステムであること、また、2020年度には貿易管理サブシステムの統合も予定されており、関係省庁システムが全て統合されたこと等から大規模な移行となるため、慎重な作業が要求される。	
4. 次期仕様	①統合された貿易管理サブシステム機能を含め、現行（第6次）NACCSのデータを一括で移行することを目指す。 ②移行に要する時間は、前回の移行時間を目安とする。	
5. その他		

2. 移行方針

第7次NACCSへの移行については、以下の方針で詳細仕様での検討を行うこととする。

【方針①】一括移行を目指す。

- 新旧システムの並行稼働を行った場合には、接続先が2つとなることから、新旧2つのシステムの接続先を切り替えたり、データの整合性を考慮しながら業務を行う必要が生じるため、利用者の業務運用が煩雑となる。そのため、利用者への負担が最も少ないと考えられる一括移行を目指すこととする。

【方針②】第6次NACCS更改時の移行時間を目安とし、確実な移行を目指す。

- 利用者の運用への影響を考慮し、第6次NACCS更改時の移行時間を目指す。
- 第7次NACCSへの移行後、業務に支障を与えないようデータの移行を確実に行う。

新旧システム移行イメージ

